

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 6番 田 口 寿 宜

平 成 26年 6月 9日

午前・午後 11時45分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>予測されている未来は変えられる ～これからの本市の方向性について～                      人口減少問題がクローズアップされてきている現在、国・県においても危機感を持ち始め、この問題の解決に向け、いよいよ本腰を入れてきた。本市でも少子化対策・子育て・産業振興・雇用・高齢化対策等々、各分野において市民が住み続けたいと実感できるまちづくりに向け努力している。                      人口減少問題は既に予測されている事実だが、予測されている未来は、必ず私たちの力で変えられるものである。                      この視点に立ち、次の事項について私達は今何をすべきか考えて行きたい。</p> <p>1. 産業振興・雇用対策</p> <p>(1) 小規模・零細企業の割合の多い本市の状況を踏まえ、産業振興基本条例の理念に則り、こうした企業が活躍できる状況をしっかりと創り出すべきではないか。</p> <p>(2) 工場等の企業誘致の視点も大切ではあるが、本市への本社機能の誘致という視点も検討するべきではないか。</p> <p>2. 地域の拠点づくり・お年寄りの居場所づくり</p> <p>(1) 市内それぞれの集落が危機感を持ちながら色々なアイデアを出し合い、地域コミュニティーの維持・元気の創出に努めている昨今、今後はこうした集落・町内会・各種団体に組織されている地域運営体の果たすべき役割が非常に大きくなるものと考え。横手市の健康の駅事業を参考に、各運営体区域内での拠点づくりをしたうえで、そこを拠点に、行政と市民との協働での地域づくりに取り組んで行くべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) お年寄りのみの二人暮らし世帯、一人暮らし世帯が増加傾向にあり、もしもの場合を踏まえ、民間との連携のもとに、お年寄りの居場所づくりを考えていかなければならないと思うがどうか。</p>		
<p>上記のとおり通告します。</p>		

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 8番 阿 部 則比古

平 成 26年 6月 9日

午前・午後10時15分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 合併時に旧三ヶ町村が将来の事業計画を持ち寄って、新市の建設計画が策定されたが、これまで検証も総括も何も無く合併から十年になろうとしている。果たして旧町村が均衡ある発展をして行くという計画の精神は十分に尊重されてきたのか。</p> <p>2. 合併以降普通建設事業費が激減している。特に門脇市政になってから旧西木村は事業費が五分の一という往事に比べれば無きに等しいような額になっている。桧木内地区の住民は建設業に携わって生活を支えてきた方々が多かっただけに影響も大きく、就労機会の減少から人口減少も著しい。各省庁や県から様々な補助事業のメニューが随時提供されているが、こうした情報を素早く収集し分析して、本市に適した事業をいち早く押さえるという基本的な作業が果たして的確に行われてきたのか？</p> <p>3. 昨年の七月に「里山資本主義」と題する一冊の本が発刊されて以来、全国各地で国内の森林資源に対する関心が高まり、大きな反響を呼んでいるようだ。木質ペレットを中心とした、大変示唆に富んだ内容であり、本市の広大な森林利活用に多大なヒントを与える内容だ。</p> <p>①原油輸入量の減少による貿易収支の改善 ②エネルギー安全保障の観点            ③化石燃料の消費減量による CO2 の排出削減 ④安定した価格と供給 ⑤農業に取って代わり得る産業ボリューム ⑥お金が地域で循環するシステムが構築できる。⑦大人数の安定した雇用が期待できる。⑧今後の原油の高騰等々を勘案すると、林野庁を中心に今後、国、県が大きな力を入れてくる。お隣の岩手県では、だいぶ以前からペレットストーブやボイラーの普及に力を入れてきたが、灯油や重油価格との関係で時期尚早だった。いよいよ機は熟した。総合産業研究所の出番と思うが、先進地（オーストリア）研修等をさせて本格的に研究をする気はないか伺う。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

番 号 3

平成26年6月 9日

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 7番 大 石 温 基

平 成 26年 6月 9日

午前・午後 11時38分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 除雪時入り口に雪が入らないよう</li><li>2. 一軒家等家へ入る道路の市道認定について</li><li>3. 地域の水路（集落内の水路等）の整備</li><li>4. 上水道未整備地の早期解消と、安全な水の安定供給を</li></ol>			
上記のとおり通告します。			

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 16番 八 柳 良太郎

平 成 26年 6月 9日

午前・午後 11時57分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. さくら祭りについて</p> <p>(1) 今年の「さくら祭り」の評価について</p> <p>(2) 当市の合併の基本理念の第一【観光産業をいかしたまちづくり】との関連について、武家屋敷の保存・維持との関わり</p> <p>(3) 改善すべき課題について</p> <p>① 駐車場</p> <p>② トイレについて</p> <p>③ 桧木内川堤の出店について</p> <p>④ 観光産業関連業者のサービスや意識向上について</p> <p>2. 夢牧場について</p> <p>観光産業との連携について</p> <p>3. 国民文化祭について</p> <p>ささら大競演会について</p> <p>全体の歓迎体制について</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 17番 高 久 昭 二

平 成 26年 6月 9日

午前・午後 9時30分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 仙北市の置かれている現状と門脇市政の政策推進について 仙北市も少子高齢化及び人口減、過疎化、若年層の流出に歯止めがかからず、安倍内閣のアベノミクスも恩恵がない中で、農業の先行きに不安を抱え、門脇市長はこれまでに推進してきた市政政策見直しが迫られる時期にきているのではないかと。(市財政不安も抱え)(仙北市26年度実施計画等踏まえ)</p> <p>2. 企業誘致、食品工業(株)における仙北市の対応等について (建設用地選定、市の財政支援等を含めて)</p> <p>3. 角館庁舎(老朽化、耐震化問題含む)の移転改築と火除け復元及び本庁舎機能を持つ庁舎建設について (既存施設等の有効活用等含め)</p> <p>以上、一問一答方式で質問させていただきます。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 9番 黒 沢 龍 己

平 成 26年 6月 9日

午前・午後 8時00分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 仙北夢牧場について                      昨年12月に竣工して半年になろうとしている肉用肥育牛団地について、当初の計画どおりに順調に実施され運営しているのか、また現在の状況と事業の狙い、効果について伺う。</p> <p>(1) 現在の肥育頭数は</p> <p>(2) 毎月の買入れ頭数で地元の子牛が購入されているのか</p> <p>(3) 自給飼料、水田の有効活用はいつになるのか</p> <p>(4) 良質堆肥の活用時期について</p> <p>2. 中川地区公共施設の上水道について                      中川地域には小学校、保育園、集落センターの3つの施設があり、全て地下水を利用している。年間を通しての水質は、良い時もあり、悪い時もあり、子供たちは先生の指導に従っている状況である。昨年には、寺沢地区まで配水本管が敷設されている。そこで今後3施設の上水道整備計画について伺う。</p> <p>(1) 中川小学校の計画は</p> <p>(2) 保育所、児童館の計画は</p> <p>(3) 集落センターの計画は</p> <p>3. NHK 全国のど自慢の開催について                      仙北市は、合併して10年を迎えようとしており、観光産業も売りの一としている。今後の観光客を呼び込む手段として、NHKの「のど自慢」の招致も一方策と考えるが、市長の見解を問う。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			